

議員がチェック
しています!



と注目事業

予算特別委員会では、当初予算議案について2日間にわたり審議し、多くの質疑、提案を行った。その中の主な質疑を報告する。

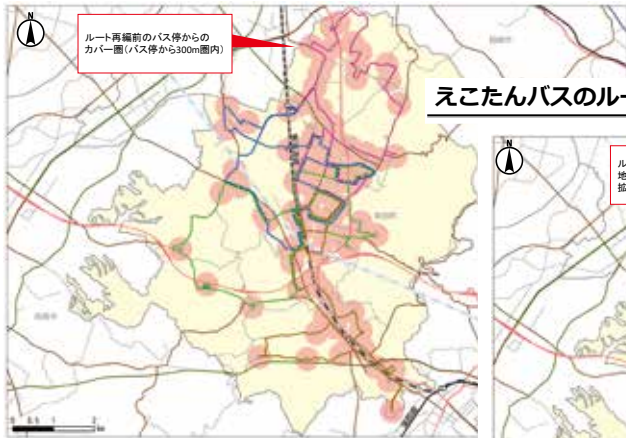
暮らしやすいまち
〈安全・安心・快適〉

公共交通再編事業
4834万円

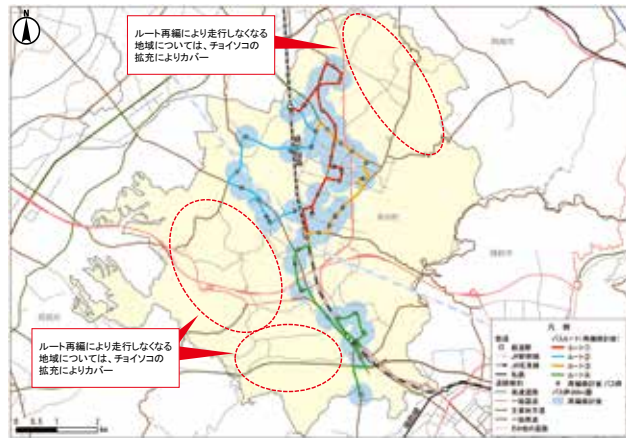
公共交通の効率化と利便性向上のため、10月以降に、えこたんバスルートの再編と、その補完でチョイソコこうした台数を3台に増やし、全町へ拡大すると同時に有償化を予定。利用者の増加見込みは。

問 当初は500人、以降は1000人ずつ目指したいが、チョイソコこうした有償化後に改めて定めたい。

えこたんバスのルート再編前



えこたんバスのルート再編案(再編後)



問 再編を評価する管理指標は、どのようにするのか。

答 公共交通会議で議論し、決めていく。

対象エリア



みどり豊かなまち
〈自然環境〉

自然共生サイト
認定準備事務委託料
555万4000円

菱池遊水地周辺の、貴重な自然環境保全のため、国の自然共生サイト認定準備を行う。

問 認定のためのデータ収集に、住民参加型調査とあるが、どのようにやるのか。

答 詳細の検討はこれから。

問 水辺で楽しむ環境整備の計画は。

答 手つかずの自然を残す方向で人工物はあまり多く設けない。

生ごみ処理容器等
設置費補助金
150万円

問 前年度の倍近い予算計上の理由は。

答 令和7年度は6月末で予算を使いきった。町民のニーズに対応のため増額した。



補助金予算倍増の生ごみ処理容器

令和8年3月11,12日開催

予算特別委員会

令和8年度

予算審議



アニメでも魅力発信

活力とにぎわいの
あるまち
〈産業〉

幸田の魅力発信事業
7248万7000円

ふるさと納税のPRとセットで、幸田町の特産品をPRする事業。
問 事業の業務は、どのような内容か。
答 PRを積極的に行わないと寄附が獲得できない。
広告やイベント手伝いの委託、特産品創出等の補助、幸田町の魅力や特産品のアンケート等が、主な内容である。

健やかに暮らせるまち
〈健康・福祉〉

子育て短期支援事業
101万4000円



こども家庭センターを設置する保健センター

保護者がこどもの養育が一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行う事業で、こども家庭センターが利用調整を行う。
問 対象家庭の把握と周知は、どのようにするのか。

対象家庭の把握と周知は、どのようにするのか。

ホームページ等で
の周知の他、こども
家庭センターが支援
を行うなかで、対象家
庭の把握と情報提供を
行う。
答

難聴高齢者補聴器
購入費助成事業
135万円

身体障害者手帳の交付対象とならない50歳以上の難聴者に、補聴器購入費用の一部を助成する。
問 年齢を引き下げた理由は。
答 認知機能に影響してくる年代として、50歳とした。



助成対象者拡大の補聴器

誰もが学べるまち
〈教育・文化〉

児童用トイレ工事
設計委託等
1584万円

小学校の児童用トイレの洋式化及び乾式化を、令和9年度～11年度で、2校ずつ進める。
問 小学校の計画であるが、中学校の計画はあるのか。
答 令和12年度以降、2年で実施していく予定。

小学校給食費無償化
1億5352万
4000円

「給食費負担軽減交付金」が創設され、国と県から2分の1ずつ、1人当たり月5200円が交付される。
問 給食を食べない児童（不登校・アレルギー）で弁当持参などへの対応は。

近隣自治体の状況を
確認し検討する。
答

食材費高騰により、
予算不足となった
場合の対応は。
問

超過分は、従来と同様に町費負担。
答



いよいよ無償化の学校給食

持続可能な行財政運営

今後大型事業も進める上で、基金の積み上げと、起債も必要と思うが、財政運営をどう考えるか。
問

特定目的基金を積むという姿勢で、財政運営に当たっている。また、必要な事業は、起債も活用していくことに努める。
答